

平成30年

シートベルト・チャイルドシート着用強調月間 ～カチッとベルトパーフェクト運動～

新潟県実施要綱

1 実施期間

3月1日(木)～3月31日(土)

2 目的

この運動は、県民にシートベルトとチャイルドシートの着用の必要性を訴えるとともに、正しい着用を徹底し、交通ルールの遵守及び交通事故発生時の被害の防止・軽減を図ることを目的とします。

3 スローガン（平成30年使用交通安全年間スローガン）

「 ぼく安心 チャイルドシートに 抱かれてる 」

4 運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した実施計画を策定して、シートベルトやチャイルドシートの使用・効果等について積極的な広報を行い、県民にシートベルトとチャイルドシートの着用徹底を呼び掛けましょう。



新潟県交通安全対策連絡協議会

全ての座席でシートベルト着用

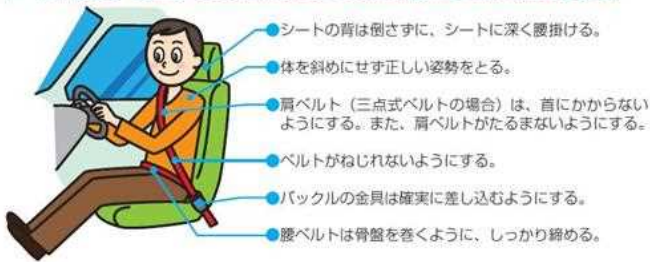
◎ シートベルト着用状況 (平成 29 年 10 月 県警察、JAF合同調査)

区分	着用率 (%)			
	新潟県		全国	
	一般道	高速道	一般道	高速道
運転者	98.6	99.7	98.6	99.5
助手席同乗者	94.1	99.5	95.2	98.3
後部席同乗者	49.7	89.1	36.4	74.4

シートベルトは正しく着用しなければ効果がありません。
下の絵のとおり正しく着用しましょう。

シートベルトの正しい着用法

シートベルトは正しく装着すると交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減できます。



新潟県における運転者の着用率は、98.6%であるのに対し、後部席同乗者の着用率は49.7%と極端に低い状況です。

運転者の非着用者は、ごく僅かに感じますが、平成 29 年中の運転者の死者 (23 人)のうち39.1% (9人)が非着用者でした。

シートベルトは正しく装着すると交通事故に遭った場合の被害を大幅に軽減できます。

シートベルトを正しく着用し、大切な命を守りましょう。

車に乗ったら、「前も後ろも、すぐベルト」を合言葉に、全ての座席でシートベルト着用を習慣付けましょう。

チャイルドシートの正しい使用

◎ チャイルドシート使用状況 (平成 29 年 4 月 県警察、JAF合同調査)

☆ 使用状況

区分	チャイルドシート使用率 (%)			
	1歳未満	1~4歳	5歳	6歳未満
新潟県	90.6	55.2	25.6	52.3
全国	87.1	65.6	40.9	64.1

○ 6歳未満全体の使用率は 52.3%で、**全国42位**です。

○ 1歳児未満の使用率は 90.6%ですが、5歳児の使用率は 25.6%と低調です。

☆ 子供の乗車状況

区分	チャイルドシート使用率 (%)	チャイルドシート不使用率 (%)			
		車両シートにそのまま着座	チャイルドシートにそのまま着座	大人用シートベルト着用	保護者の抱っこ
新潟県	52.3	20.8	3.0	19.5	4.5
全国	64.1	20.2	4.0	7.1	4.6

○ 抱っこやそのまま着座では、急ブレーキや衝突の際、車外放出などの重大な事故になる危険性があります。

○ 体の小さな子供が大人用シートベルトを使用すると、衝突時にすり抜れたり、首にかかって窒息や首の骨を折る等の危険性があります。

しっかりと付けていますか？チャイルドシート

JAFによる調査の結果、しっかりとチャイルドシートの取り付けができていないのは、全体の約4割で後の6割は取り付けミスが発生しています。

その原因は、「腰ベルトの締付け不足」が大部分を占めています。

今一度取り付け状態をチェックしましょう。

万が一の交通事故のとき、子供を守るのはチャイルドシートです。

大切なお子さまを守るために、必ずチャイルドシートを使用しましょう。